

業務の新聞

第71号 2021年 2月 1日

申2号提出しました。

1月7日に提案された3月ダイヤ改正について職場の皆さんからの声を基に「申2号」を作成し、1月29日に東京支社に申し入れました。

「コロナ禍」「新たな生活様式」「終電繰り上げ」「旅客収入の激減」など今までに経験したことのない状況下でのダイヤ改正になります。

職場で日々業務を担い、お客様と接している私たちだからこそ出来ることをシッカリ・キッチリと考え論じ・発信していきましょう。

この間、東京支社とは“職場における双方向のコミュニケーション”の重要性やその質の向上について時間をかけて論議をしてきました。このことをベースにより良い職場を創造するために取り組みを進めます。皆さんの知恵とチカラを“全集中”でお願いします。

シッカリと検証を！

新幹線の速度向上により速達性向上すると3月ダイヤ改正では提案されました。「どこまでの速達性なのか？」と考えます。

会社収入の激減を示す数字が出ています。お客様の減少も報じられています。「中央線快速の12両化は必要か？」と考えます。

休日出勤をさせてでも行う「研修や〇〇委員会」の開催は必要か？」と考えます。

営業職場の作業ダイヤや運転職場の行路などは“どのように決定されていますか？”作業ダイヤや行路に“職場の仲間たちは反映されますか？”

会社の経営にかかわる内容から、あなたの職場の業務内容などを忖度ナシでシッカリと検証していきましょう。

3月ダイヤ改正？！

皆さんは「ダイヤ検討委員会」や「ダイヤ改PJ」というモノが運転関係職場に設置されていることを知っていますか？

文字通り、社員ののために・社員の声を・活かす。委員会やPJであってほしいと考えます。

お客様のご利用状況に応じたダイヤの設定や新たなサービスの提供、夜間作業充実などが会社提案にあります。ダイヤ改正は、私たちの生活や業務に大きな影響を与えます。“終電繰り上げ”という点を考えると入区後の清掃やメディア作業などを担う協力会社社員の方々の生活にも大きな影響があることでしょう。

JRを支えるすべての労働者のために、より良いダイヤ改正を実現しなければなりません。

春のたたかい

①賃金の引き上げ(労働条件向上)

②“赤字下”での企業活動の検証

③新型コロナウイルス感染予防

を柱に2021年春のたたかいを展開します。

JR 東日本は、お客様のご利用状況が大きく減少し、収入が激減しています。極めて厳しい状況・誰もが経験したことのない現実の中に私たちは居ます。

そのような中ですが、

私たちの労働条件はどうあるべきか！

あきらめる・ガマンするだけで良いのか！

命を守るために何をするか！何ができるか！を考える春のたたかいにしたいと思います。

ともに考え・発信していきましょう！